

今日こなつが STEP で泣いちゃった。

自分はアトリエでのお手伝いと同時にアトリエの下にあるスタジオで週2回リカちゃんがやっている STEP とされるミュージカルクラスのお手伝いもさせてもらっているのだけれどそこでポロポロ静かにめっちゃ悔しそうにこなつが泣いている。今日は自分が STEP で教える初めてのダンスクラス。深夜何回も1人アトリエの向かいのアパートで「これだったらダンスやった事ない子でもかっこよく見えるよね。」とか独り言をブツブツ言いながらパジャマで踊り狂って振り付けを考えて「STEP の子達に本格的なダンスをさせてあげるんだ！」と思って今日に臨んだ。

今日も毎回同様スタジオに「おはよう！」って元気よく STEP 小学生クラスのみんながスタジオに入ってくる。靴下をビョーンと引っ張って脱いで STEP が始まるまで毎回恒例のドッジボールとフリスビーが合体した遊びをする。リカちゃんお手製の青のフリスビーがクルクルとスタジオを飛んでいって、時々壁に当たって「壁アウトー！」とか言ってみんなゲラゲラ笑う。こなつは土曜日クラスのフリスビースターだ。体を動かすのもすごくうまくてフリスビーが魔法がかかったようにこなつの手に吸い込まれていく。みんなこなつが自分のチームに入ってくるとちょっと心強いなと思っている。プロ選手並みのフォームでフリスビーを投げるこなつが



この後の自分の初ダンスクラスの緊張でいつもよりちょっと遠く見えた。

レッスン前恒例のフリスビー、みんな運動神経すごい！

「はい！始めるよー！」のリカちゃんの声でみんな一斉にスタジオを二つに分けるために使っていたいろんな色のヨガマットをクルクルって巻いて片付ける。まずはこれまた毎回恒例の二人組に分かれての世間話のあと、



### 小学生の世間話

今日はレナがダンスを教えてくれるよってリカちゃんが紹介してくれて、みんなで鏡の前に広がる。ストレッチ、クロスフロア、ポーズす



る遊びをリードしていくちっちゃかった自分の声に自信がどんどんついていって大きくなっていく。自分は2歳の時からダンスをやらせてもらっていたから自分が受けてきたダンスクラスっぽくなってくるともうこっちのものだ！と思った。振りも教え初めてみんなニコニコしながらついてきてくれる。鏡越しに見えるちょっと辿々しいステップも何もかもすごく可愛いくて幸せだなーと思った。ダンスを踊ったことが無い子もいっぱいいたのに30分弱であっという間にみんな振りを覚えてくれて、じゃあこんなにできるんだったら！と一回二グループに別れてお互いの踊りをみていいところ、直したほうがいいところを言おうとなって一回踊ってもらった。ダンスって他の人に自分を魅せる、表現する芸術だから自分で気付かないことは見てもらってアドバイスもらった方がいい。うんうん。

第一グループが踊り終わって二つの円になってアドバイス合戦が始まる。年上の子達が一年生の子達も分かりやすいようにアドバイスしていているのを見て気分よくもう一つの円の方を振り返った瞬間さーっと自分の顔から血の気が引いた。こなつが泣いている。ポロポロ静かにめっちゃ悔しそうにこなつが泣いている。正直人生でこれ以上ないぐらい焦った。なんて言ったらいいかわからなかった。頭真っ白になった。アドバイス合戦が終わったあと、リカちゃんとまだ泣いてるこなつがちょっと話してるのを見てもっと焦った。こなつとはアトリエで仲良くなって、こなつはすごく素直でちっちゃい子の面倒見がよくて、STEPにきた1日目もココアちゃん（アトリエとSTEPで私はココアちゃんと呼ばれている）とアトリエで会えるの楽しみだよ！ってニコニコしながら言ってくれる自分がすごく尊敬している子の一人。そんな大事に思っている子を自分のクラスで泣かせてしまった。こなつを泣かせちゃった。まだポロポロ涙を拭いてるこなつが自分の方に近づいてきてくれた時「大丈夫だよ」と絶対大丈夫だと思ってないだろー！っていう感じの声でロボットみたいにこなつの背中をぽんぽんした。レナお前何言ってんだ！と思った。

こなつに今日自分のクラスの最後にもう一回踊って笑って帰って欲しいと心底思った。だけど、こなつはスタジオの端っこのソファに座って最後に踊るみんなを見て終了時間の12:00が来てしまった。おまけに最近入った一年生のあさちゃんが最後に踊って足挫いてスタジオの中で泣いてる人が二人になった。失敗しちゃった。失敗しちゃった。二人も泣かせちゃった。

ココアちゃん楽しかったよ！って言うってくれる子達が一人一人スタジオの青いドアを抜けて帰っていく。リカちゃんがソファの上でまだポツンと座っているこなつと話してる。バイバイって消えちゃいそうな声でこなつを見送ってリカちゃんと自分しかいないスタジオでため息をついちゃった。

「失敗だー」と言った自分にリカちゃんはいや、こなつはここに来るまですごく成長してきたんだよ、今日は大きな一歩なんだと嬉しそうにリカちゃんは教えてくれた。こなつは今日うまく踊れなかった自分が悔しかったらしい。ああ自分はこの一時間半で今ぐんぐん成長中のこなつの成長を自分勝手に完結させようとしてしまったんだ。自分は自分の振りを上手くみんなが一つの作品として踊って欲しいって自分のエゴがめっちゃ入っちゃってたんだと気づいた。頭の中の文章が全部「レナが」「レナは」「自分が」「自分は」になっていた。目の前のこなつのことを考えられないぐらい焦っちゃったんだと反省した。

自分はこの一時間半だけの目の前の泣いているこなつを見ていたけど、リカちゃんはまだもっと遠く、多分大人になったこなつが見えている。そのこなつの歩いていく道の小さな一部として毎回のレッスンを見ている。リカちゃんの作る作品は一人一人が最大限成長できるもので演劇はあくまで手段として捉えている。その毎回毎回毎週毎週の小さな小さな積み重ねの成果を見るのが楽しいんだよとリカちゃんと言う。

リカちゃんのクラスはリカちゃんのそういう「楽しい」がすごく現れている。ミュージカルの準備期間でない時の STEP は私が思い浮かべるダンスレッスンや歌唱のレッスンではなかった。自分とは違う人間になりきってバツタリあったらなんていうかの遊びとか、スローモーションで侍になりきる遊び。上級生が作るゴムの網の下をとおる遊び。目隠しをしているお友達を静かなスタジオの中を案内する遊び。お友達の背中に乗って人間の体重を感じる遊び。お題をもらってグループで 10 分で劇を作り上げる遊び。準備された台本を大人に言われる通りにこなすことに慣れていた自分にとってすごく恥ずかしくてどうしたら良いかわからなくて足がすくんでしまう遊びだった。





みんな大好きなゴム遊び「飛びます！」って言って上級生の子はめっちゃ飛ぶ



侍遊び、みんなスローモーションで周りの子にアタック！斬られても復活できるシステム

STEPの子達は恐れることなく安心して思いっきり思い思いのおばあちゃん、恐竜、侍を演じる。一年前、STEPの公演を見させてもらった時に感動したのはセリフが無い部分のみんなのアドリブやリアクションの演技。自分がいた劇団の子達は自分も含めてセリフの無い部分どうしたらいいかに苦戦した。だけどSTEPの子達はすごく自然に自分のキャラクターを演じている。遊びの身体表現を通して、自分で考えて体全体で表現する力を基盤としてあの圧巻の演技が出来上がっているんだとわかった。

自分も小さい時は「私を見て！」とかキャラクターをみんなの前で演じるのが大好きな子だった。人を笑かすためだったらお腹にペンで顔書いたりとか、弟と夜な夜なダンスの発表会したりとか幼稚園で自分の髪の毛をジョキジョキ工作用のハサミで切っちゃうような子だった。いつしかそのすごく目立ちがり屋のちょっと空回りしがちな自分の子供時代の映像を見るのがすごく恥ずかしくなって、いじめられたりとかしてすごくその頃の自分がすごく嫌いになった。ちょっと落ち着いて、そのころの自分と違う大人になってよかったと思うようになった。

だけど、一階のスタジオで面白いおばあちゃんになり切ってみんなから笑いをとってリカちゃんに思いっきり褒められてる小学生を見て、あの頃のレナだったらこれめっちゃ上手いだろうなと思ってここ10年で初めてその目立ちがり屋のレナに戻りたくなった。みんなここでありのままの自分を表現して褒められたりいっぱい失敗してゆっくり確実にその子らしい大人になっていく。

ココアちゃんもやってみる？って言ってもらってスタジオの真ん中でみんなに比べたらあんまり面白くないおばあちゃんになってニコニコした自分に少し5歳ぐらいのレナの笑顔も混ざったような気がした。

